

平成30年2月23日実施

「おうちで伝える『性』のおはなし ～いつから？どこまで？どんなふうに？」（第1弾）の様子

講師：染矢 明日香さん（NPO 法人ピルコン 理事長）



【家庭でできる性のおはなし】

★いつから？★

・子どもが「知りたい！」と思ったときが、教えどきです。子どもが性について聞いてきたら、慌てず、否定しないで答えてください。すぐに答えられなくても、「今は分からないから、後で調べてから話すね」と言って大丈夫です。

★どこまで？★

子どもが、なぜそれを知りたいのか、どこまで知りたいと思っているのか、探りながら話をしましょう。例えば、「赤ちゃんってどうやってうまれるの？」と聞かれたとき、子どもは素朴な疑問として生命の誕生のしくみについて知りたいだけで、性交のことについて知りたいわけではないこともあります。まず、子どもの知りたいポイントに答えて、それでも質問が続くようなら、さらに答えていく感じでいいと思います。

★どんなふうに？★

- ①肯定的に : 否定してしまうと、子どもは「性のことは聞いたらダメなんだ」と思い、今後何かあったときに保護者に相談できなくなってしまいます…。
- ②科学的に : 科学的に正しい情報を淡々と伝えることで、恥ずかしいと思いきくなるのでおすすめです。
- ③多様性を前提に : 性については多様な考え・価値観があり、自分や相手の考えを大切にすることを伝えましょう。

性について、外部からは否定的な情報を受け取ることが多いかもしれないので、家庭では、ぜひ肯定的にお話してもらえたらいいと思います。絵本などを使うのもいい方法です。

性は、恥ずかしいことでも、汚いことでも、いやらしいことでもありません。

性は、健康なことでも、プライベートなことでも、大切なことです。自己管理と相互理解が大切。

【最近の子どもを取り巻く性の現状】

最近の子どもたちは、性に関する情報を、インターネットで知ることが多いですが、インターネット上に掲載されている性情報やアダルトビデオ・マンガなどは、非現実的だったり、暴力的だったりします。そんな間違っ性情報を見た子どもたちが、性に対するゆがんだイメージを持って、現実でも暴力的な性行為をしまったり、逆に性に対して嫌悪感をもってしまったりすることがあります。現実の性行為では、合意のない性行為は暴力だし、したいことや嫌なことを率直に話し合える対等な関係性が大切だと伝えましょう。



【具体的に家庭でどんな話をするか】

あくまで目安ですので、子どもさんの状態に合わせてお話してくださいね。

☆乳幼児期（概ね0歳～6歳）☆

- ・からだや性に関する素朴な疑問への肯定的な回答
- ・プライベートゾーンのルール
- ・性被害予防や対処法



—プライベートゾーンのルール—

「水着で隠れた部分+口」は、あなただけの大事なところ

★自分や他人のプライベートゾーンを勝手に見せたり、さわらせてはいけません。

★性的な言葉や行動で他人を不快にさせてはいけません。

★一人でいるときは自分のプライベートゾーンをさわってもよい。

☆児童期（概ね7歳～12歳）☆

- ・女子：月経／ 男子：精通
- ・スマホ・SNSの使い方
- ・性情報管理
- ・性別への違和感（多様な性があること）

☆思春期（概ね13歳～17歳）☆

- ・男女交際
- ・避妊・性感染症

※講座では、子どもへの具体的な声かけや事例紹介など、いろいろなお話がありました。もっと詳しく知りたい方は、講師の染矢先生が書いた[「おうちで伝える性のおはなし」](#)コラムも参考にしてみてくださいね☆

♡アンケートより♡

- ・年齢に応じた伝え方があるということ、子どもの具体的な疑問にどう話したらいいのか学ぶことができました。
- ・性について、伝えにくい・話しにくいというイメージがあったが、「大切なこと」なんだという認識で話すことが大切なのかなと思いました。
- ・性に対してゆがんだイメージがない子どもたちになってほしいと思いました。
- ・悩んだり、疑問に思っていることを消化できる講座でした。
- ・性の話となると、周りにも相談しにくいし、恥ずかしくて子どもにどう伝えたらいいかわからなかったのが、とても参考になりました。
- ・なんとなく不安に思っているけど、しっかりと考える機会がないテーマだったので、この講座はとてもよい機会になりました。
- ・これから子どもに性のことについて聞かれたら、成長を喜んで、絵本も活用して、きちんと向き合って、ポジティブに答えられる気がします。
- ・子どもへの声かけの具体例もたくさんあったので、今後の子どもとの関わりに活かそう。
- ・中3の娘が心配で受講しましたが、小4の息子への対応も考える時期だと気付くいい機会をいただきました。
- ・子どもを育てる親すべてが聞いておくべきお話だと思った。
- ・子どもの自己肯定感の大切さが改めて分かりました。

